

空が高くなり、庭には秋桜も咲き始めました。季節は、秋本番を迎えようとしています。秋の夜長にお団子を食べるもよし、好きな音楽を聴くもよし、美しい音楽を奏でるもよし。皆さんそれぞれに実り多い秋を満喫しましょう。

#ルミエールの練習予定

11月のチャレンジコンサートに向けて、以下のようにルミエールの練習を行います。ご指導は菅原先生で、新しく参加される方は谷川さんか宮園さんにご連絡ください。

月日:10月22日(日)

時間:10:00~12:00

場所:岡山市立中央公民館5階

連絡先:谷川さん:携帯 090-8364-9375, E-mail qzb03677@nifty.com

宮園さん:携帯 090-5370-4028, E-mail rodai-11259@docomo.ne.jp

#星っさんコーナー(その136)

「ブラスバンドと吹奏楽」

顧問 星島明郎

日曜日の早朝、ラジオから流れてきた爽やかなブラスバンドの音色。思わずボリュームを上げて聴き入っていました。「ブラスバンド」は、正確には木管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォン等)を含まない、金管楽器と打楽器だけによるバンドの事です。現在、日本全国で演奏され親しまれているスクールバンドや一般バンドは、木管楽器や弦楽器も含み、正式には「吹奏楽」と呼ぶのが正しいと思われます。日本では何となく「吹奏楽」の事を「ブラスバンド」略して「ブラバン」などと言っていることが多いようですが、欧米では「吹奏楽」は、「ウィンドバンド」「ウィンドオーケストラ」或いは「シンフォニックバンド」などとも言っており、「ブラスバンド」とは分けて言われているようです。私が中学・高等学校に勤めていた若い頃、ある講習会でそのことが話題に上り、それ以後は、スクールバンドの事を「ブラスバンド」と言わないように心がけてきました。

私は現在、岡山県一般吹奏楽連盟の会長を勤めさせて頂いていますが、最初に吹奏楽に関わるようになったのは高松中学校に赴任した時からでした。赴任は昭和36年でしたが、翌年の昭和37年の秋に岡山県で第17回国民体育大会が予定されており、高松中学は吉備津神社で行われる弓道の開会式・閉会式の式典音楽を受け持つことになったのです。野外演奏で、しかもわずか一年足らずで、式典で使われる曲と行進曲を間に合わせるには、予算の事もあり、金管バンドが最も能率よく練習もしやすいと考えた私は、木管楽器を使わない小編成のブラスバンドを発足させることを決めました。12月の末、待望の楽器が運び込まれ、年が明けてから早速練習にかかりました。総勢16名、全て男子生徒で編成しました。私が赴任するまでは音楽の教員は代々女性の先生。音楽部員も女子ばかりで、音楽などする男性は軟弱な者と思われていた様子。メンバーは、野外活動が主になると考え、敢えて体力のある男子のみとしたのです。(女子も男子に劣らず体力のあることは、後で分りましたが)。当時の高松中は、スポーツは勿論文化部の活動も非常に活発で、受験勉強の方も、3年生は放課後2時間、3時間と補習授業があるほどの活気あふれる中学校でした。新設のブラスバンド部は年度途中での部員集めだったので、最初が肝心と、担任の先生や部活の先生にお願いして、特に優秀な男子生徒を集めさせて頂きました。その後も、勉強にも部活にも大変活発な高松中では、両者を両立させることが第一と考え、他の部活にも支障をきたしてはならないという思いから、少数精鋭主義で臨み、常に少ないメンバーをいかに能率よく、効果的に鍛えるかを考えて指導に当たりました。個人的なレベルを高いものにし、一人ひとりが演奏の喜びを味わえるようにしたい。個性的なプレーヤーを育ててまとまりのある音楽をつくる。言わば「ソリスト集団のアン

サンプル」・・・これは現在に至るまで私の理想とする合奏の姿なのです。2 ヶ月の基本練習の後、「君が代」「蛍の光」「得賞歌」「校歌」のほか数曲の易しいマーチなどに取り組み、3 月 19 日の「卒業生を送る会」で最初のステージを持つことが出来ました。この初ステージは、それなりに好評でしたが、フルートプレーヤーだった私にとって木管楽器の無いブラスバンドは、レパートリーの面からも、とても満足出来なくなってきました。校長にお願いして、春休み中にフルート・クラリネットの女子部員 5 名を加えて 21 名編成とし、4 月には、さらに新入生 7 名を加えて総勢 28 名となり、やっと待望の本格的な吹奏楽の形を整えて練習に入ることが出来るようになりました。この年、岡山国体もあり、結成して 1 年も経たない間に 20 回近くの本番を持たせて頂いたのは、中学校の教職員はもとより、高松町民の皆さんの温かい声援の賜物で、私の長い人生の中で最も幸せで充実した教員生活であったと、感謝の気持ちでいっぱいです。このメンバーは、翌年の吹奏楽コンクールで岡山県代表として、初の中国大会出場という素晴らしいプレゼントもしてくれました。高松中学校吹奏楽部は、今年創立 57 年目を迎えていますが、現在も全日本吹奏楽コンクール中国大会の常連校として活躍されているのは本当に嬉しい限りです。歴代の指導者の先生方、有難うございました。

#演奏会情報

♪第 24 回岡山フルートの会チャレンジコンサート

日時:11 月 3 日(金,祝日)14:00 開演(13:30 開場)

会場:岡山シンフォニーホール スタジオ 1(岡山市北区表町 1 丁目 5-1)

入場料:無料

お問合せ:入澤さん keyco_fl@yahoo.co.jp(チャレンジコンサート実行委員長)

♪バロック音楽の午後 珠玉の出会い〜テレマンとパリ〜

日時:11 月 22 日(水)19:00 開演(18:30 開場)

会場:岡山市立オリエント美術館

入場料:前売り 2,000 円 当日 2,500 円

出演:フラウト・トラヴェルソ/天本由美 バロック・ヴァイオリン/林内美織

ヴィオラ・ダ・ガンバ/上山摩希子 チェンバロ/丸川 映

曲目:テレマン/パリ四重奏曲第 1 番, 第 2 番 他

お問合せ:090-2805-5064(天本さん)

没後 250 年を迎えたテレマンの「パリ四重奏曲」を中心に、当時のフランス宮廷に仕えていた作曲家の作品を演奏します。

#演奏会情報&チラシの会報への同封について

演奏会情報は 10 月 27 日(金)までに谷川さん(会報係チーフ)に連絡してください。また、演奏会のチラシを会報封筒に同封・郵送(原則として奇数月のみ)を希望される場合は、A4 版はそのまま(A3 版は二つ折りにして) 袋詰めの日時に長谷川楽器店に持参してください。その際、必ず事前に会報係チーフに連絡し、会報発送数を確認してください。

会報係チーフ連絡先:qzb03677@nifty.com(谷川さん)

#チラシをホームページに掲載する方法について

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシを PDF 化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先:柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井 1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

11 月号の会報の封筒詰めを、11 月 7 日(火)午後 7 時から長谷川楽器店 3 階ホールで行います。会員の皆さまには、封筒詰めのお手伝いをお願いします。